

平成三十年三月三日 埼玉偉光会館開所に向けて

神 示

この世の姿をよくよく悟りて 「教え」を心の支えに「生きる」人を目指す
この地は 姿 形に氣持ちをのまれ 眞実「眞理」が見えずに生きる人が多い
心に満足が薄く 常に求める氣持ちが強く 「人生」が安定しない
人生は「教え」を学び 「眞理」に悟りを得て

人 物との出会いを深めることで生きてくる

生きがい 喜びを味わい 手にして いやいよ奉仕に生きる「人生」が始まってゆく
「偉光会館」開所をかなえて 「教え」に悟りを深める信者の人生は

大きく守られ 救われる

今日 この地の信者が 氣付き なすべきことを教えよう

—— 家族で「偉光会館」に出入りし 「教え」を学び

我が家に生かす努力を家族でする ——

この実践が 家族の心を一つに重ね 「魂」安らぐ環境をつくり出す

「教え」のある家庭に 人の心は安定し 「奉仕」に生きる人を育てる
我が家の「心の道」を受け継いで 生まれる人間は

「教え」を学び 互いの「任」と「立場」を知って 関わりを深めることで
六つの花びらが咲きそろろう家が完成する

神 示

神魂宿りて この地の姿は大きく変わる

「眞理」に悟りを得て 「運命」が導く人生を歩む人が 多く誕生してゆく
心の迷いは治まり 信者の心は大きく引き上げられる

職員 係 信者に申す

自ら「教え」を学び 眞実「眞理」に生きる人を目指せよ

眞理なき知識に生きる今の世の中 心は乱れ 迷い 苦しむ人が多い
なれど 「偉光会館」に出入りを重ね 心の姿を高めるほどに

人の心は 神の手の中 導かれ 守られ 救われてゆく

神魂に「心」重なる職員 係 信者を目指せよ

「教え」を学び 心の姿を高めるほどに この地は大きく守られ 栄えてゆく

神 示

神の手の中 この地は守られ 導かれて 「運命」に重なる人の姿が見える

「眞理」なくして この世は乱れて終わる

信者は 心重ね 一丸となって 縁ある人に 神示に触れ 「教え」に生きる

その尊さを伝えてほしい

社会は 「眞理」に悟りを得た人が台頭してゆく

人が考え 思い描く知識は 限界を迎え 「眞理」を求め始める

信者に申す

「教え」に生きて 悔いなき人生を歩み抜く人であれ